

別紙様式 1

令和5年度 指定管理者運営状況点検・評価シート

対象施設名	徳島県立神山森林公園イルローザの森	施設所在地	名西郡神山町阿野字大地459-1
指定管理者名	徳島中央森林組合	指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日
施設所管課	林業振興課	【連絡先】	088-621-2459

1 施設の概要

設置年月日	平成元年7月29日（平成11年3月25日 東龍王地区を追加）
設置目的	県民に保健休養の場を提供するとともに、森林及び林業に対する県民の理解を深める
施設内容	公園敷地281.13ha 森林学習館、レストハウス、炊飯所など計38施設
利用料金等	無料
開館日・休館日等	12月28日から1月4日まで

2 指定管理者の業務

指定管理者の業務内容	・徳島県立神山森林公園の施設の運営業務（受付案内業務、イベントの実施、自主事業の実施、利用拡大のための啓発活動） ・施設・物品等の維持管理業務（清掃業務、修繕業務、設備運転管理等業務、展示物及び遊具施設等常駐メンテナンス業務、警備業務、芝生管理、樹木管理、園地・林地管理、遊歩道、管理道及び林道の管理） ・施設の利用の許可に関する業務（森林学習館、炊飯施設、ゲートボール場）
------------	---

3 施設の管理体制

管理体制	事務等職員 3 名 作業員 6 名 計 9 名
	<pre> graph TD A[総括管理責任者：専務理事（兼任）] --> B[事務管理責任者（兼任）] B --> C[公園所長] B --> D[現場責任者] C --> E[事務員] C --> F[常勤作業員 6名 [園地管理、清掃業務]] subgraph Box [事務等職員・専任] D E F end </pre>

4 施設の利用状況

利用者数 (人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	R5年度	41,672	16,803	6,303	4,383	4,359	8,088	9,162	15,219	6,387	4,206	5,202	33,726	155,510
	前年度	32,508	17,808	6,706	4,140	5,318	8,218	8,908	13,508	5,697	4,201	5,202	30,528	142,742
	前々年度	31,348	17,487	6,618	4,407	5,223	8,119	8,811	14,556	7,429	4,407	4,431	29,033	141,869

[illegible]

施設毎 利用料金収入 (千円)							計
	〇〇年度						
	前年度			該当なし			
	前々年度						

5 収支の状況

(単位：千円)

項 目		R 5 年度	R 4 年度 (前年度)	R 3 年度 (前々年度)
収 入	指定管理料	72,600	72,600	72,600
	利用料金収入	0	0	0
	事業収入	97	68	75
	その他			
	計	72,697	72,668	72,675
支 出	人件費	8,500	11,393	10,782
	管理運営費	59,450	57,189	58,273
	事業費	2,068	1,441	822
	その他	2,749	2,712	2,839
	計	72,767	72,735	72,716
収 支		-70	-67	-41

6 コスト削減・サービス向上に関する取組状況

コスト削減の取組	・園内の遊具や柵など施設の補修にあたっては、可能な限り材料の現場調達を行い、職員が実施することにより、購入や外部発注にかかる経費の削減を図っている。 ・施設内の日々の見回りによるチェックを行い細かな修繕を行うことで大きな破損につながらないよう心がけている。 ・省エネルギー、省資源化による光熱費削減への取組みとして、エアコンの使用に当たっては適切な温度調節や緑のカーテン（ゴーヤ、フウセンカズラ等）の活用、各所の適宜消灯を行っている。 ・また、園内の照明や各施設の照明をＬＥＤに切り替えを図ってきている。 ・コピー・印刷用紙の節約やミスコピーの再利用による事務費の削減を行っている。
サービス向上の取組	・年間を通し多彩な事業を開催し、年間カレンダーを作成し、県内各所で周知を図っており、ニーズに応じ、参加者が多いイベントについては、回数を増やすようにしている。 ・各種教室の参加者には、記念品を贈呈する「イベントポイント制度」を導入し、利用促進とリピーターの確保を図っている。 ・園内どんぐりマップを作成し、どんぐり、松ボックリ等を拾いたい等の要望に応じて、現場を案内している。また、桜の時期には、開花情報をＨＰに掲載し、見頃を紹介している。 ・各種イベント時には、来園者向けに案内所テントを出して見所を案内している。 ・トイレ（見晴らし広場、展望広場、ファミリー広場女子）にセンサーライトを設置している。 ・スマートフォンで樹木が検索できるＱＲコード付き樹木プレートを設置している。 ・職員一人一人が一日３人の来園者から直接意見や要望を聴取する「１日３人ふれあい運動」を実施している。

7 自主事業の取組状況

自主事業取組状況	・「紅葉祭り」を、神山マルシェと共催して11月25、26日で開催した。 ・上記のイベントでは、紅葉狩りと食イベントを組み合わせることで、地元特産品や地元農産物の販売、地域の学校からの出店、ワークショップ、音楽イベントなどもあり神山森林公園を核とした地域活性化のイベントとして、大変賑わった。 ・11月と3月には、動物ふれあい教室を実施し、命の大切さを学ぶイベントを行った。 ・Ｒ６．3月末にはさくら祭りを開催し、多くの方が神山森林公園に来園することにより、森林や自然とふれあえる機会を創出した。 ・計画していたみどりの感謝祭については、GW中であり密になるため中止していたが、Ｒ６年度から開催を予定。
----------	--

8 管理運營業務に係る点検・評価

項 目	評 価	点 検 結 果
①利用者ニーズの把握・分析と利用促進 ・利用者ニーズの把握 ・利用者ニーズへの対応 ・施設の利用促進	A	・職員が1日最低3人の来園者から意見や要望を聴取する「1日3人ふれあい運動」及び「全ての来園者にあいさつ運動」の実施により、利用者ニーズの把握に努め、可能な限りイベント等に反映させている。 ・イベントポイント制度の導入によりリピーターの確保に努めている。 ・年間カレンダーの作成や、HPにイベント情報などを掲載し、利用促進に努めている。
②自主事業 ・計画した自主事業の実施	A	・地元団体等と連携を図りながら、さくら祭り、紅葉祭りを開催している。紅葉祭りでは地元の食材を販売する神山マルシェを同時開催することで、利用者へのサービス向上が図られるとともに、地域間交流が図られた。 ・計画書に基づいた自主事業が実施されており、公園スタッフで運用することでコスト削減を図っている。
③適正な維持管理 ・施設の保守管理・修繕 ・年間作業計画に基づく適正な維持管理 ・県備品等の適正な管理	A	・園内の施設については、直営により速やかに、かつ細やかな修繕が行われており、少ないコストで多くの箇所の修繕が実施されている。 ・園地管理については、樹木・草花・芝生の手入れが行き届き、来園者からの好評な声が多数寄せられている。 ・課題として、イノシシ被害の効果的対策が望まれる。
④収支計画 ・収支計画の達成状況 ・コスト削減の状況 ・外部委託の状況	A	・修繕等を直営で行うことで、コスト削減を図っている。 ・適切なエアコンの管理やLED電球の使用、緑のカーテンなどにより、費用の抑制を図っている。
⑤管理運営体制等 ・管理運營業務計画書 ・職員の配置、研修計画 ・諸規程の整備 ・利用料金の徴収、減免 ・モニタリングの実施状況	A	・業務計画書に基づく適正な職員配置により運営がされており、保安業務や浄化槽の管理、警備など必要な外部委託も計画どおり実施されている。 ・県条例に基づく文書管理規程も新たに整備された。 ・「1日3人ふれあい運動」において、来園者から聴取した内容も反映したモニタリングとなっており、職員の情報共有により、随時改善・改良がされている。
⑥職員体制 ・職員の労働条件	A	・事業計画書の職員体制に示された労働条件を満たす勤務ができており、適正な能力及び実績を評価した、人員配置がなされている。
⑦地域への貢献 ・地元雇用の状況 ・地元企業への業務委託	A	・職員の多くは地元雇用である。 ・年間を通じて開催されている教室の講師として地元企業に依頼をして、連携協力を図っており、あわせて地元企業のPRをしている。 ・業務委託についても、県内企業を中心に実施されている。
⑧地域との連携 ・地元団体等との連携	S	・自主事業イベントの際には、地元団体等と実行委員会を組織し、地元特産品や農産物を販売するなど積極的に連携を図っている。 ・R5年度はさくら祭りと紅葉祭りを開催し、多くの来園者により賑わった。 ・地区の学校行事や課外授業などに使用されるとともに、自主事業イベントにも参画が図られている。
⑨安全管理 ・安全管理体制、事故防止体制 ・災害等発生時の対応体制 ・マニュアルの整備、職員教育 ・個人情報保護への適正対応	A	・施設を定期的に巡回・点検し、早急に修理を行っている。 ・台風等の発生時には、状況確認や危険箇所への立入禁止等の対応を早急に行っている。 ・防災マニュアルの職員への徹底を図るとともに、月会議時には、安全確認や注意事項の共有を図っている。 ・感染症の予防対策として、消毒液を常備している。

項 目	評 価	点 検 結 果
⑩環境への配慮 ・環境対策の状況	A	・利用するチェーンソーオイルは環境に優しい成分のものを最小限の利用に努めることで、環境への負荷を抑制している。 ・園地管理などに使う自動車など、アイドリングストップの徹底を図っている。 ・東龍王地区の山野草繁殖地では草刈りを制限し、保護活動の普及啓発として来園者に紹介している。
⑪その他 ・関係法令の遵守状況 ・情報公開請求への対応体制	A	・関係法令に基づき、適正に実施されている。 ・情報公開規定を整備している。 ・定期的に職員会議を行い、対応体制を確認している。
総合評価	A	・利用者ニーズの把握により、要望に対する対応が積極的に図られ、サービス向上につながっている。また、直営の園地管理により速やかに補修、管理が行われ、低コスト化も図れている。環境への配慮や安全管理等も整っており、適正な運営管理が行われている。

〈評価指標〉 S：協定書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
A：概ね協定書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われている。
B：協定書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫や努力が求められる。
C：管理運営が適正に行われたとは認められず、改善を要する。

※ 項目については、事業計画書と整合性をはかる。

9 その他（今後の課題及び対応等）

- 神山森林公園の魅力発信や広いフィールドを利用した新たなイベントを開催することにより、来園者を増やす取り組みが期待される。
- 具体的には、
- ・人気イベントの開催回数を増やすとともに、新たな自主事業を模索する。
 - ・インターネット、新聞、パンフレット（4カ国語対応）を活用した県内外への積極的なPRを続ける。
 - ・神山森林公園HPやSNSにより、公園情報の充実とイベント情報の発信を行う。
 - ・神山森林公園HPのリニューアル及びSNSによる情報発信を行う。
 - ・新たに「森林フリーマーケット」を定期的開催し、来園の少ない20代から30代の年齢層の来園を促進する。
 - ・徳島木のおもちゃ美術館と連携し、木育広場の利用促進等を図る。
 - ・ロードバイク愛好者向けに「林道東龍王山線」のPRを行う。
 - ・ツーリングを楽しむためのスタンドやパンク修理の機材等の整備を行う。